

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U - N E X T
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宇 野 康 秀
 (コード番号：9418 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 堀 内 雅 生
 TEL. 03-6741-4426

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 12 月 16 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【連 結】

(単位：百万円、%)

項 目	平成 26 年 12 月期 (予想)			平成 26 年 12 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 25 年 12 月期 (実績)	
		構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高	22,544	100.0	26.0	16,759	100.0	17,897	100.0
営 業 利 益	1,218	5.4	73.0	921	5.5	704	3.9
経 常 利 益	1,216	5.4	81.0	910	5.4	672	3.8
当期(四半期)純利益	714	3.2	▲39.3	581	3.5	1,176	6.6
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益	164 円 11 銭			134 円 81 銭		293 円 53 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	0 円			—		0 円	

(注) 1. 当社は平成 25 年 11 月 1 日付で普通株式 1 株につき 20,000 株の株式分割を行っておりますが、平成 25 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。

2. 平成 25 年 12 月期(実績)及び平成 26 年 12 月期第 3 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 平成 26 年 12 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数(960,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大 400,000 株)は考慮しておりません。

以 上

ご注意： 本資料に記載されている当社グループの当期の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月16日

上場会社名 株式会社U-NEXT 上場取引所 東
 コード番号 9418 URL http://unext.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇野 康秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀内 雅生 TEL 03-6741-4426
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	16,759	—	921	—	910	—	581	—
25年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 589百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	134.81	—
25年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 平成25年12月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は平成26年12月期第3四半期累計期間において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	4,874	970	19.7	225.18
25年12月期	4,239	381	9.0	88.45

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 962百万円 25年12月期 381百万円

(注) 当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき20,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,544	26.0	1,218	73.0	1,216	81.0	714	▲39.3	164.11

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成26年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数（960,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	4,311,200株	25年12月期	4,311,200株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	一株	25年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	4,311,200株	25年12月期3Q	一株

(注) 1. 当社は、平成25年12月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載していません。

2. 当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき20,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

映像配信サービス（ビデオ・オン・デマンド（VOD））の市場規模は、平成22年の662億円（野村総合研究所調べ）に対し平成25年は1,159億円（同）と、3年間で約2倍に市場が拡大しております。また、この3年間で、スマートフォンなどの携帯型端末やインターネット対応テレビの普及が著しく進み、スマートフォンについては、平成25年には契約数で6,280万（同）、個人普及率で49.4%（同）に達し、インターネット対応テレビについては、平成25年に日本の総世帯数5,195万世帯（平成22年国勢調査）に対して保有世帯が1,948万世帯（同）と37.5%に達し、インターネットを通じて映像などのコンテンツを楽しむ環境が急速に整っております。

ブロードバンド通信市場は、総契約件数が平成25年3月末時点で4,058万件（ICT総研調べ）となり、全国世帯数比の普及率は74.9%（同）となっています。そのうち光ファイバー回線は2,385万件（同）で全体の59%（同）を占め、伸び率の鈍化傾向はみられるものの、ADSL回線の置き換え需要も含めて引き続き堅調な伸びとなっております。また、無線によるブロードバンドサービスは、前年比2.3倍の530万件（同）と大きく伸びております。

また、当社の新規事業である、MVNOサービス市場では、低価格のSIMサービスの回線契約数は、平成25年度末時点で173万（MM総研調べ）と、まだ少数にとどまりますが、平成26年になり総務省によるSIMロック解除や、契約期間の縛りの撤廃に向けた動きが本格化し、端末メーカーもSIMフリーの携帯・スマートフォン端末を発売し始めており、今後の大きな普及が見込まれる環境となっております。

このような環境のもと、当社は財務体質強化の動きを継続するとともに、より一層の事業規模の拡大を図るため、既存のサービスの高度化、新規サービスの導入を積極的に行ってまいりました。

これらの結果、売上高は16,759百万円、営業利益は921百万円、経常利益は910百万円、四半期純利益は581百万円となりました。

当社グループの各セグメント別の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

<コンテンツプラットフォーム事業>

コンテンツプラットフォーム事業では、顧客維持・拡大・顧客満足度向上に向けて電子書籍、音楽等の新たなマルチメディアサービスの提供に取り組みました。また、平成25年から引き続きWEBプロモーションにおける施策、シネマコンプレックス等へのサービスのOEM（相手先ブランド）提供等の販売活動を積極的に推し進めたことが、ユーザー数の獲得増及び課金ユーザー数の堅調な推移につながり、事業規模を拡大することができました。

この結果、コンテンツプラットフォーム事業における売上高は6,047百万円、営業利益は457百万円となりました。

<コミュニケーションネットワーク事業>

コミュニケーションネットワーク事業におけるブロードバンドインターネット回線の販売代理店サービスでは、不動産業者を含めた代理店網の拡大を引き続き推進し、フレッツ光回線の契約を計画以上に獲得することができました。

また、平成25年より開始しておりますMVNOサービス「U-mobile」においては、業界の市場規模が大きく成長していることもあり、販売数の増加、特に渡航者向けのプリペイド販売数が堅調に推移しております。平成26年7月には、音声通話サービスも開始し、一層の販売拡大を図っております。

この結果、コミュニケーションネットワーク事業における売上高は10,712百万円、営業利益は797百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ635百万円増加し、4,874百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が202百万円、繰延税金資産が296百万円減少したものの、売掛金が766百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて313百万円増加し、4,095百万円となりました。

固定資産は、無形固定資産が222百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて321百万円増加し、779百万円となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が300百万円、未払金が262百万円増加したものの、買掛金が134百万円、1年内返済予定の長期借入金が235百万円、前受金が237百万円が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、3,407百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が149百万円減少したものの、長期借入金が159百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて52百万円増加し、496百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益を581百万円計上したこと等により970百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の連結業績予想における売上高は、各事業セグメントにおける加入者の堅調な伸び等を背景に、22,544百万円(前連結会計年度比26%増)となる見通しであります。利益面については、営業利益は1,218百万円(前連結会計年度比73%増)、経常利益は1,216百万円(前連結会計年度比81%増)、当期純利益は714億円(前連結会計年度比39.3%減)となる見通しであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	509,498	306,888
売掛金	2,272,942	3,038,967
たな卸資産	158,479	114,901
前払費用	521,788	458,698
その他	479,504	347,464
貸倒引当金	△160,743	△171,872
流動資産合計	3,781,470	4,095,047
固定資産		
有形固定資産	180,736	211,315
無形固定資産		
その他	166,648	389,315
無形固定資産合計	166,648	389,315
投資その他の資産	110,685	178,971
固定資産合計	458,070	779,602
資産合計	4,239,540	4,874,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,970,307	1,835,699
短期借入金	—	300,215
1年内返済予定の長期借入金	312,822	76,884
未払金	266,962	529,711
未払法人税等	105,553	138,551
賞与引当金	—	54,093
販売促進引当金	65,618	86,250
返品調整引当金	41,688	7,087
その他	651,187	378,553
流動負債合計	3,414,140	3,407,045
固定負債		
長期借入金	74,000	233,436
その他	370,087	263,369
固定負債合計	444,087	496,805
負債合計	3,858,228	3,903,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	170,020	170,020
資本剰余金	128,011	128,011
利益剰余金	83,279	664,463
株主資本合計	381,311	962,495
少数株主持分	—	8,303
純資産合計	381,311	970,798
負債純資産合計	4,239,540	4,874,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,759,640
売上原価	10,893,335
売上総利益	5,866,305
返品調整引当金戻入額	34,372
返品調整引当金繰入額	5,338
差引売上総利益	5,895,338
販売費及び一般管理費	4,973,634
営業利益	921,704
営業外収益	
受取利息	445
持分法による投資利益	16,724
その他	1,101
営業外収益合計	18,271
営業外費用	
支払利息	10,630
為替差損	9,743
支払手数料	4,500
その他	4,143
営業外費用合計	29,018
経常利益	910,957
税金等調整前四半期純利益	910,957
法人税、住民税及び事業税	174,644
法人税等調整額	146,825
法人税等合計	321,469
少数株主損益調整前四半期純利益	589,487
少数株主利益	8,303
四半期純利益	581,183

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	589,487
四半期包括利益	589,487
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	581,183
少数株主に係る四半期包括利益	8,303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツプラットフォーム フォーム 事業	コミュニケーション ネットワーク 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,047,268	10,712,371	16,759,640	-	16,759,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,047,268	10,712,371	16,759,640	-	16,759,640
セグメント利益	457,478	797,945	1,255,423	△333,718	921,704

(注) 1. セグメント利益の調整額△333,718千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。